

研究課題名	橈骨動脈と上腕動脈における収縮期血圧の差を利用した中心静脈血酸素飽和度の推定 -多施設共同前向き観察研究-
研究機関名	堺市立総合医療センター、武蔵野赤十字病院、ほか国内で合計10施設程度の参加を予定している。現在も参加施設募集中であり、全施設の列記は困難である。
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴
研究期間	平成 30 年 5 月 ～ 平成 33 年 4 月
研究の意義・目的	(1)研究の意義 ショック患者の蘇生を行う上で重要な循環動態指標の一つである ScvO ₂ をsBPradとsBPbraの差(ΔBP)を用いて推測することができれば、より低侵襲にショック患者の管理を行うことができ得る。 (2)研究の目的 収縮期血圧90mmHg以下のショック患者を対象として、橈骨動脈における観血的動脈圧の収縮期血圧(Systolic blood pressure of radial artery: sBPrad)と上腕動脈における非観血的動脈圧の収縮期血圧(Systolic blood pressure of brachial artery; sBPbra)の差(ΔBP)を用いて中心静脈血酸素飽和度(ScvO ₂ :Central venous oxygen saturation)が70%未満であることを診断するための診断精度を調べる。
研究の方法 (対象期間含む)	本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく。 デザイン：多施設共同前向きコホート研究 データ採取方法：参加施設のICUもしくは準ずる施設内に入室し、適格基準を満たす患者に口頭もしくは、書面によるインフォームド・コンセント(Informd consent: IC)を行い、同意を得る。同意を得られた患者に対して、①ICU入室後可能な限り早く、②その6時間後のタイミングで観察項目(別紙参照)を測定・記録する。 本レジストリから得られるデータを用いて行う研究の統計解析は、別途計画・申請する際の各研究の研究計画書、統計解析計画書に従って行う。 対象期間：平成30年 5 月 ～ 平成33年 4 月
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	患者データは各病院内で患者氏名など個人情報情報を削除し、患者データに新たな番号を付与して連結可能匿名化した状態でデータベース化し、中央施設に送られる。そのデータを用いて研究する際は、研究者によってデータと個人識別情報を連結することはできない。研究への参加同意を撤回した患者のデータに関しては、データベース上から削除し、研究に用いない。当施設におけるデータ入力の際の対応表は紙媒体にて集中治療部控室内の鍵のかかるロッカーに保管する。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525